

自立支援・重度化防止に関して  
お困りの介護支援専門員の方へ

リハビリ相談のご案内

茨城県では、在宅で療養する高齢者の自立支援や  
重度化防止のため「リハビリ相談」を実施しています

例えば、

退院して  
自宅に復帰...

入院生活で  
足腰が弱く  
なった

手すり  
がなくて昇り  
降りが辛い

こんなお悩みはありませんか…

- 担当する利用者に心身機能の低下が見られる
- 専門職に相談したい・アドバイスを聞きたい

移動・運動・嚥下 いずれかに注意が 必要である	失語症や記憶障害 があって、生活に 支障がある
拘縮が2か所以上 あり、痛みがある	外出の機会や知人 との交流が少ない

心身機能の低下の例

参考 「つながるシート」 (茨城県介護支援専門員協会)

リハビリ相談  
を利用!

リハビリ専門職が  
アドバイスします!

- ◆ 心身機能
- ◆ 居住環境
- ◆ 福祉用具
- ◆ 日常生活動作

... etc

利用無料  
・  
募集中

利用者の自立支援・重度化防止を支援したい、  
リハビリテーションの困りごとがある場合には  
ぜひ「リハビリ相談」をご活用ください!

- 「リハビリ相談」全般に関するお問合せ先  
(一社) 茨城県リハビリテーション専門職協会  
電話：029-306-7765 / E-mail：reha-info@irpa.jp  
<https://www.irpa.jp/katsudou/rihasoudan/>

詳しくはこちらから



## 対象となる方

- 現在、**要介護認定**を受けている方（利用は介護支援専門員の方からの申込制）

※各種サービス（医療・介護保険等）の利用状況については、**利用している／いない**を問わず、ご利用できます

## チェックリスト ～こんなときにはご相談ください～

- 次のいずれかに当てはまる場合や、リハビリテーションに関することでお悩みがある場合はお気軽にご相談ください
  - ▶ 本人や家族等はリハビリテーション不要と考えているが、自宅での転倒が増えるなど心身機能の低下が見られる
  - ▶ リハビリテーションが必要なのか自分だけで判断が難しく、**専門職の方に相談してみたい・アドバイスを聞きたい**



「つながるシート」は  
こちらから



※アセスメントにあたっては「つながるシート（茨城県介護支援専門員協会作成）」をご活用ください  
<https://iba-cma.com/contents/05info.html>

## 「リハビリ相談」で出来ること

- リハビリテーション専門職が介護支援専門員の方と一緒に対象者の自宅を訪問し、助言指導等を行います
  - ▶ 心身機能や居宅における生活動作や移動等の状況確認
  - ▶ 本人の状況に応じた生活動作や適切なサービスの利用案内
  - ▶ 福祉用具・補装具の選定や住居環境に関する助言指導
  - ▶ 利用者のケアに携わる家族や介護職員等への助言支援



※医療・介護保険制度の治療を目的とした行為ではなく、自立支援や重症化防止に向けたアドバイスを行うものです。

※「リハビリ相談」は無料で利用できます（対象者1人あたり最大3回まで）

## 「リハビリ相談」利用者の声

移動について教えてもらい、現在も生活の中で実践を続けている。玄関やトイレまでの移動が可能になり、デイサービスに週2回通って入浴もできるようになった。

移動を確保するため、住宅改修が必要か、福祉用具の利用のみで完結するのか悩んでいたため、リハビリ相談を利用し、自宅の中で評価助言をしてもらった。これまでは遠くまで移動していたが、今では自らトイレに行っていることもお聞きしている。デイサービスで入浴ができるようになってから、清潔の改善と活動量の改善があり、褥瘡も完治した。



